

心臓血管外科術後の食欲と関連因子の検討について

研究の背景および目的

心臓血管外科の手術前における低栄養は、術後合併症の重要なリスク因子であることが知られています。術後においては術後の回復を向上するために、適切な栄養評価と食事内容の検討が求められます。しかし、消化管機能が保たれている心臓血管外科の手術であっても、食欲や食事摂取量が低下する患者様が多くいます。これには手術翌日の血清亜鉛の低下が食欲不振に関与しているという報告や意欲の低下、全身麻酔による消化管運動の低下など様々な因子が関係しているといわれております。

本研究では、当院で術後 3 日目および退院前に実施している日本語版食欲評価票(以下：CNAQ-J)による食欲評価データを用いて、患者様の基本情報、医学的情報、手術関連情報、栄養関連情報との関係を明らかにすることを目的としています。本研究の成果により、術後の食欲不振に関連する因子を特定することで、術後早期の適切な栄養介入方法が明らかとなることを期待しております。

研究の詳細

対象者

2024 年 6 月~2026 年 5 月の間に、当院の心臓血管外科において全身麻酔管理下で手術を受け、経口栄養(お口からの食事)で経過された患者様を対象とさせていただきます。

※ただし、術後に集中治療室(ICU)に 72 時間以上滞在された方、および緊急手術であった方は除きます。

方法

対象の患者様に対して術後 3 日目の CNAQ-J と各項目との関係について解析を行います。

統計資料

本研究では、患者様の情報を診療録より入手・収集し、各項目の関連性を統計学的手法により解析します。本研究で利用する情報は通常診療で得られた項目のみであり、本試験に伴って新たに生じる身体への危険や不利益はありません。

研究に使用されるカルテ情報

- ・基本情報：年齢、身長、BMI(入院時・術後 3 日目・退院時)、術後入院期間、
- ・医学的情報：併存疾患(糖尿病、うっ血性心不全、血液透析)、血液検査データ(Hb、Alb、CRP)
- ・手術関連情報：術式、手術時間、出血量、体外循環使用の有無、術後合併症の有無

・栄養関連情報：喫食率(目測法)、エネルギー摂取量、たんぱく質摂取量、退院時栄養充足率、下腿周囲長、PNI

プライバシーの保護について

提供されたデータから氏名や住所などの個人を特定できる情報は一切公開いたしません。また、研究に使用するデータは厳重に管理し、匿名化された形式で取り扱います。

倫理手続きについて

本研究は豊川市民病院倫理審査委員会の承認を得て実施しております。

利益相反について

本研究に関連する利益相反は一切ございません。

お問い合わせ先

カルテ情報の利用に希望をされない場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。お申し出いただいても今後の診療等に影響はありません。ただし、すでに学会発表や論文発表にて公表されたデータとなっている場合には撤回はできません。

本研究に関しましてお聞きになりたいことがありましたらいつでも下記問い合わせ先までご連絡ください。

研究責任者

佐藤 康行（豊川市民病院 栄養管理科）

〒442-8561 愛知県豊川市八幡町野路 23 番地 1 階

TEL：0533-86-1111（代表）/FAX：0533-84-1327